

— 第 78 年度 —

関東地区大会を開催 10 月 4 日 10 時～19 時 40 分

— 9 本の議案を審議、4 本を採択、全国大会へ上程 —

ソーシャルディスタンス、マスク、消毒、検温など新型コロナウイルス感染症対策を万全にして開催

10 月 4 日、10 時から関東地方支部 3 階大会議室で、第 78 年度関東地区大会が開催され、58 人の代議員が出席した。今回の地区大会も昨年同様に新型コロナウイルス感染症対策として、ソーシャルディスタンスを考慮、大会議室のスペースを最大限に広く使用し、入場時には検温を実施、マスク着用と手指の消毒など、対策を万全にしての開催となった。また地区大会では、9 本の地区提出議案が審議され、活発な論議の末、4 本の議案（修正案 2 本、決議案 2 本）を満場の拍手で採択、11 月 1 日開催予定の定期全国大会に上程することになった

関東地区大会は午前 10 時、木下友喜関東地方支部副支部長の司会で開会し、菅野直樹資格審査委員長から資格審査結果報告が行われ、本地区大会の成立を確認後、議長団選出に移り、議長に高宮成昭関東地方支部長、副議長に榎永誠也第一中央汽船株式会社職場委員と志村雅也ダイトコーポレーション株式会社職場委員が選出された。

議長団登壇で高宮議長は、「2019 年末からの新型コロナウイルス感染拡大の大波は、4 年目に入ろうとしています但未だ収まることなく、われわれに困苦と忍耐を与え続けています。今年に入り、感染拡大は、第 6 波、第 7 波の大きな波が襲い感染者数も過去最大の感染拡大となりましたが、一人一人の感染防止意識の向上とワクチン接種の普及により現在は、感染者数は減少傾向にあり、水際対策緩和など、徐々に感染拡大前の状況に戻りつつありますが、終息しておらず、感染対策の徹底を再認識しなければなりません。また世界情勢では、ロシアのウクライナ侵攻や近隣諸国の動向によって平和な海が脅かされています。われわれを取り巻く環境はコロナ禍により、社会、産業、職場は大きな変容を強いられましたが、社会趨勢を見極めて、最前線で働く組合員が時代に翻弄されないような活動にまい進して行かなければなりません。

本日は、11 月 1 日・2 日の二日間、幕張メッセ国際会議場にて開催される第 83 回定期全国大会に向けての関東地区大会となります。本部より示されている、第 78 年度活動方針案について、活発かつ建設的な論議により関東地区としての取りまとめを行い、定期全国大会に挑んで頂ければと存じます」とあいさつした。

続いて各種委員の選任と書記団の指名、議事録署名人の指名が行われ、木下運営委員長から、議事運営に関する説明が行われた。

議事に入り、大滝恒関東地方支部長代行から、第 77 年度の関東地方支部の主要な活動の報告が行われ、質疑応答で議場の理解を深め、満場一致で承認された。

続いて 9 件の関東地区提出議案の審議に移り、審議においては 1 件ごとに提案者から提案理由と提案に至るまでの過程・考え方が明らかにされ、各代議員から賛否両論、さまざまな角度からの意見・質問が行われ、活発な論議が展開された。

提出議案は、第 1 号議案（活動の基調）に対する修正案が 5 件、第 2 号議案（国際・外航部門の活動について）に対する修正案が 2 件、決議案 2 件の計 9 件で、途中で昼食休憩

をはさみ、活発な議論が展開された。

提案された修正案は9件ともに、第78年度活動方針案の中で、コロナ禍、ウクライナ情勢、海難事故撲滅など、船員職業に密接する大きな問題について、海員組合としてどのように取り組んでいかなければならないのか、組合活動の方向性・取り組みなどが真摯に論議された結果、4本の議案が満場の拍手で採択され11月1日開催予定の定期全国大会に上程されることになった。

その後、議事録作成などの事後処理に関する確認と各種委員の解任が行われ、最後に榊永副議長から議長団降壇のあいさつが述べられ、19時40分に関東地区大会を閉会した。

「海員だより」